

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	観光団体助成事業			
予算科目	7 款 1 項 4 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線): 572	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 大谷 基文	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	伊予市観光協会(3支部)、伊予中山ホテル保存会、双海町翠地区ほたる保存会			
根拠法令等	伊予市観光協会事業費補助金交付要綱、伊予市ほたる保護活動費補助金交付要綱			
事業の目的	合併した観光協会3支部の連携のもと、市全体の観光振興及び各地域の特徴を生かした観光振興を図り、情報や資源の一元化を行いながら観光振興を推進していく。			
事業の内容	観光協会本部活動についてスムーズな運営を実施する。また、ホテル保存会(2団体)においては、地域に根ざしたイベントや保護活動も展開する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	7,120	7,070	3,810	7,630
	人件費	1,627	1,590	397	1,590
	合計	0	8,660	4,207	9,220
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	3,977	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	1,590	397	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	8,747	8,660	4,207	9,220

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
伊予市観光客の入り込み客数	人	1578143	1600000		1918694
ホテルまつり入り込み客数	人	6500	7000		3000

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		7,120	7,120	7,120	7,120	

成果指標				
成果指標	伊予市における観光入り込み客数			
指標設定の考え方	観光関係団体の活動により、伊予市への観光入り込み客数の増加。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	1600000	1600000	0	0
実績	1578143	1918694	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成26年度は、観光協会の事務局運営について、伊予商工会議所から独立した。このことにより、より一層観光協会としての情報発信等を強化していかなければならない。そのためにも商工会議所、商工会等とより連携強化を図りながら、伊予市の観光のあり方について研究していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	観光客は増加傾向にあり、観光振興は重要になってきている。観光協会事務局がこれまで以上に独立して事業実施を行うことができるよう、当面は商工会議所、商工会等と連携しながら協力支援を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	一次評価者の課題・認識のとおり、中山・双海支部におけるイベント等について、観光協会主動で実施をまた、観光情報の収集や発信に力をいれるよう指導する。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。